

平成 28 年 5 月 10 日

日本 IFToMM 会議
会員各位

日本 IFToMM 会議
実行委員長
北條 春夫

2016 年度日本 IFToMM 会議シンポジウムおよび総会のお知らせ

日頃は日本 IFToMM 会議の運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。
さて、2016 年度のシンポジウムおよび総会を下記の予定で開催致します。万障お繰り合わせ
のうえ、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

○ 2016 年度日本 IFToMM 会議シンポジウムおよび総会

日時：平成 28 年 7 月 30 日（土）

会場：早稲田大学（講演室は後ほど決定、連絡します。）

予定行事：（講演件数により変動します）

- 1) シンポジウム：9:00～17:00
- 2) 特別講演：14:00～15:00（東北大学名誉教授 内山 勝先生を予定）
- 2) 総会：17:10～17:40
- 3) 懇親会：18:00～20:00

○シンポジウムの詳細 募集テーマ：募集するテーマは例えば以下の通りです。もちろん本会の趣旨に合致すればこの限りではありません。新しい領域は大歓迎です。

運動機構：リンク機構，カム機構，歯車機構，伝動機構，減速機，超精密位置決め
機械要素：軸受，アクチュエータ，油空圧機器，弾性ヒンジ，トライボロジ，内燃機関
ロボティクス：移動ロボット，非ホロノミックロボット，パラレルマニピュレータ，
ヒューマノイド，マイクロロボット 医療・福祉機器：手術ロボット，
介助ロボット，人工義手，リハビリ機器，情緒交流，パワーアシスト機器
振動の解析と制御：ロータダイナミクス，モード解析，振動と騒音の低減，非線形振動系
計測と制御：センサ，自律分散制御，学習制御，群ロボットの制御
その他：

Young Investigator Fund Best Paper Award:

2005 年度より，シンポジウムのさらなる活性化を目指して，下記要領により，若手研究者・
技術者の優秀講演論文を表彰します。奮ってご投稿ください。

受賞資格：シンポジウム講演論文における 35 歳以下（講演論文受付時）の筆頭著者の本会会
員とします。（受賞後の入会も構いません）

論文審査：講演論文受理後，有識者からなる審査委員会の厳正な審査を経て，原則 3 件の
Finalist を決定し，さらにその中からシンポジウム当日の講演発表の審査を経て，

受賞者を決定します。

贈賞件数：Best Paper Award 1 件を含む Finalist 3 件。 贈賞内容：賞状、賞牌および賞品 表彰式：本シンポジウムの終了後に開催される 2016 年度総会にて表彰式を開催します。

日程：講演申し込み締め切り 平成28年5月23日（月）
採択通知 平成28年5月27日（金）
原稿提出締め切り 平成28年6月24日（金）

講演申し込み時の情報：

以下の情報を下記へ電子メールまたはFAXにてご連絡ください。

- (1) 著者（筆頭著者，連名者のフルネーム）名（和英併記）
- (2) 講演者名
- (3) 講演者の生年月日（Young Investigator Awards 資格に該当する講演者）
- (4) 講演題目（和英併記）
- (5) 著者連絡先（E-mail アドレス，電話，FAX）
- (6) 200字程度の概要

講演申し込み先：

日本 IFToMM 会議シンポジウム・総会担当
〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1
東京工業大学 工学院 機械系 岩附研究室内
TEL: 03-5734-2538 FAX: 03-5734-3917
E-mail: symposium@jc-iftomm.org (IFToMM 専用)
WEB: <http://www.jc-iftomm.org/japanese/index.html>

講演原稿の送付方法：

昨年度より，PDF 原稿を電子メールの添付ファイルでご送付いただくこととしました。この際，機種依存のフォントは必ず埋め込んでください。送付先は講演申込みと同じで，下記電子メールアドレスに送付してください。

E-mail: symposium@jc-iftomm.org (IFToMM 専用)

皆様ご多忙とは存じますが，FAX または電子メールで結構ですので講演発表の申し込みをお待ちいたしております。

※気早ではありますが，シンポジウム原稿執筆要綱を同封いたしますので，ご活用ください。